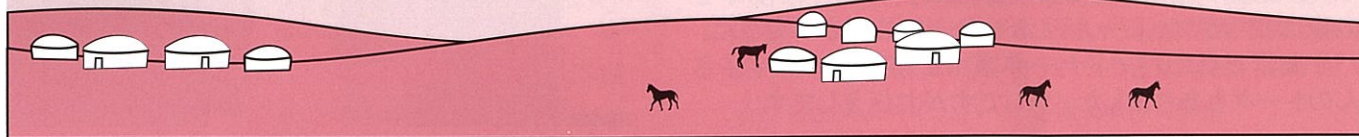


NPO法人
子どもセンター「パオ」
Newsletter

vol. 49

- ぴあ・かもみーる日記「実家計画はじめました！」
- 17周年記念イベントリポート
- 子どもシェルター全国ネットワーク会議リポート



パオの
現いま

ぴあ・かもみーる日記「実家計画はじめました！」

ステップハウス「ぴあ・かもみーる」（ぴあかも）を旅立った子たちは、それぞれの場所で生活し、今までみんなで集まる機会がなかなかありませんでした。

家に居場所がなかったり、実家と呼べる場所がなかったりする子が多いので、実家に集まるような機会があればいいなということで、「実家計画」という企画を立ち上げました！

お世話になったぴあかものスタッフに会いたいという要望がとても多いので、第一弾として、バーベキューを計画してみました。各子どもたちを担当するパートナー弁護士に連絡を取ってもらったところ、予想以上にたくさんの参加の連絡をもらいました。

当日は、机をみんなで囲んで、ぴあかもの思い出話で盛り上がりました。利用時期が重ならず、初対面の子もいる中でも、みんな和気あいあいと楽しめたのは本当によかったと思います。スタッフのごはんがおいしかった話、ある弁護士が宿直の日に秘密の宴会(?)をした話、旅立ち後に退所者同士で遊んだ話、その場になかったメンバーの近況など、あっという間に時間が過ぎました。

最近連絡が取れず心配していた子がいたのですがこの会に参加していた子が連絡してくれ、その日の夜にパートナー弁護士がその子と再会を果たすという感動的な出来事もありました。自分の子どもを連れてきてくれた子もいて、スタッフに子どもを抱っこしてもらえた、ととても喜んでいました。自立して、家族のサポートなどが無い中、頑張って子育てをしている姿は、本当に応援したくなりました。他にも子どもがいる退所者がいますが、子どもの顔を見て、誰の子どもか言い当てられるスタッフもいて、すごいなと感動しました。

途中であるスタッフが手作りのパンを差し入れに来てくれました。ぴあかもにいた頃に焼いてくれていた記憶がよみがえり、みんなすごく嬉しそうでした。ぴあかものごはんをもう一度食べたいという子が続出していました。バーベキューのお肉もお野菜もたくさん食べてお腹いっぱいになったところで、最後に残った食材やご飯を、家族のためにと、みんな綺麗に持ち帰ってくれました。それぞれに家庭を持ったり、自立した生活をしてるんだなと実感しました。

帰りの車の中で、「今日は来てよかったあ」と子どもたち。「また企画してね、絶対行くから」と言ってくれた子もいました。今回、退所者全員に声をかけられず、また体調不良で来られなかった子もいたので、第二弾、第三弾も行う予定です。少し遠出してキャンプするのもいいな、1つの机を囲んでのんびり語り合うのもいいな、と夢がふくらみます。

子どもたちに実家のような場所や機会を提供できるよう、知恵を絞っていきたいと思っています。場所を提供してくださる方や、こんな企画はどうでしょう？と提案してくださる方を大募集していますので、ご協力いただける方はパオ事務局にご一報をよろしく願います！
(パートナー弁護士Y)

